

令和元年 6 月 19 日

令和元年度 第 1 回 学校運営協議会

<運営協議会委員>

名 前	職 名
松 宮 新 吾	追手門学院大学教授
河原林 昌 樹	弁護士
藤 本 幸 二	門真市立第五中学校長
鈴 木 貴 雄	門真市立脇田小学校長
峯 松 大 輔	門真市教育委員会
藤 岡 みずほ	門真なみはや高校 P T A 会長

<事務局>

宮 田 幸四郎	教頭	桂 田 光	生徒指導部長
久 森 雅 代	事務長	松 村 尚 之	生徒会指導主担
辻 敏 彦	首席	岡 田 真 美	保健部長
宮 蘭 賢 二	首席	藤 田 和比郎	総務部長
山 田 浩 二	教務部長	黒 田 いつみ	3 学年主任
福 田 拓 矢	進路部長	金 秀 好	2 学年主任
		山 口 周	1 学年主任

<開催日時> 令和元年 6 月 19 日 15 時～17 時

<内容>

- 学校長挨拶
- 委員、教職員の紹介
- 要項の確認
- 議事

<審議事項>

- 1 平成 31 度学校経営計画及び学校評価について
- 2 その他

<報告事項>

- 1 第 1 回授業アンケート質問項目について
- 2 教科書採択について
- 3 各学年、分掌より
- 4 その他

<審議事項>

○学校経営計画(中期的目標)について

確かな学力の育成について

Q:新カリキュラムでは、何がどう変わるのか? どう変えていくのか?

A:「主体的・対話的で深い学び」を進めることになる。令和4年度までに、それが実現できるよう授業改善に取り組む。また、入試制度の変更に対応できるように科目の配置を研究し検討している。

Q:読書習慣を身につける、とあるが具体の工夫は?

A:授業で取り組みを進めてもらっている科目もあるが、朝の読書時間を設定するなど、枠組みを作ることを探していきたい。

Q:ICTの活用は具体的にどのように実践しているのか?

A:英語フィールドなどプレゼンで活用している。数学のアプリを使って関数のグラフを視覚的に実感させるなどの試みも始めている。

意見:ICT=効率の良さを求める、だけに偏ると、ノートテイキングの力がつかないという弊害もあるので注意が必要

生徒のやる気スイッチをオンにする

Q:部活動の参加率を上げる、について、府の部活動ガイドラインを守るということは部活動をするな、という流れだと感じるという声もあるが、ガイドラインを守りながら部活動をすすめていくことは可能か?

A:週当たりの休みを設定したり、考査前の活動休止期間を設定するなど長期的にみれば、休みを確保できている。

安全で安心な魅力ある学校づくり

Q:困り感のある生徒は、多くないように思うがどうか?

A:心身の不調や人間関係の悩みを抱える生徒は少なくない。学校生活支援カードの活用や必要に応じて外部機関と連携するなどして対応している。

<報告事項>

○授業アンケートについて

質問項目の確認と渡日生対象として別に「やさしい日本語」バージョンも用意していることを報告。

○来年度にむけて教科書採択作業の進捗について報告。

○各学年,分掌からの報告。

次回開催日時については、後日調整する。